

平成30年度 日本大学スポーツ科学部個人研究費 研究実績報告書

所属: スポーツ科学部 競技スポーツ学科

資格: 助教

氏名: 宮内 育大

研究課題		運動経過に関する本質的諸徴表から見た運動構造の分析(砲丸投を対象として)
報告の概要	研究目的 及び 研究概要	<p>研究目的 運動構造を分析するにあたり、現状としてバイオメカニクス的手法を用いた局面構造の観点から見た運動構造の分析が大半を占める。そこで、力動的諸徴表や心理的立場からの諸徴表の観点から運動の構造を分析することを目的とした。</p> <p>研究概要 対象とした運動(砲丸投)の経験者に半構造化面接を行い、運動リズムや運動の先取りの観点から質問を行う。得られた内容から、対象とした運動の構造を構築する。 具体的な手順として、得られたデータを統計処理(SPSSソフトウェア)により客観的な数値として示す予定である。その後、被験者へのフィードバックおよび研究論文としてまとめていく予定である。</p>
	研究成果	<p>実際に運動構造の成り立ちを理解した上で本実験を行い、考察を行わなければならないと考えられる。また運動の構造を分析するにあたり、その運動構造が外的要因から受ける影響について検討しなければならないと考えられる。そこで、予備研究として今年度は同じ陸上競技ではあるが、種目の異なる跳躍運動を用いて外的要因によって運動構造がどのように変化し、パフォーマンスに影響を与えたのか考察を行った。</p> <p>その結果、今後の研究を考察する上で役立つ資料および結果が明らかになった。また、学会発表を通して、データを公表することができたと同時に他の研究者と意見交換することで新たな視点が発見できた。</p>
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	なし
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	①学会発表:宮内育大・森長正樹・加藤幸真・小山裕三「跳躍運動における接地の意識差がパフォーマンスに及ぼす影響」東京体育学会第10回大会、2019年3月10日、東京大学。
	・その他 *学会・競技団体報告書など 著書名・標題・掲載誌名 発表年月・発行所 *講演会、研究会、研修会、セミナー等での講演発表 発表者・発表年月・題目名・講演会名 *社会貢献活動等	なし